

【留意事項】

- (1) 運用容量値は、電圧や系統安定度などの制約により、変わる場合があります。備考欄をご参照願います。
 ※1 1バンク運用のため1バンク設備容量を記載
 ※2 3バンク運用のため1バンク故障時を考慮し2バンク分の容量を記載
 ※3 4バンク運用のため1バンク故障時を考慮し3バンク分の容量を記載
 ※4 1バンク故障時の電源抑制や系統切替を前提に時間を限定して使用できる設計上の熱容量を考慮
- (2) 空容量は目安であり、系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、空容量が変更となる場合があります。
- (3) 原則として熱容量に基づく空容量を記載しております。その他の要因(電圧や系統安定度など)で連系制約が発生する場合があります。
- (4) N-1電制適用可否欄には、熱容量制約の解消を目的とした当該設備へのN-1電制の適用可否の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可否が変更となる場合があります。適用不可の場合の理由は以下のとおりです。
 #1 基幹系ループ系統のため
 #2 1バンク変電所(分割運用等含む)のため
 #3 配電用変電所のため(高圧電源の系統連系の場合、N-1電制は対象外となります。)
- (5) N-1電制適用可能量欄には、熱容量制約の解消のため当該設備にN-1電制を適用した場合の適用可能量(上位系考慮なし)の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可能量が変更となる場合があります。なお、高圧系統に接続される電源の場合、N-1電制は対象外となります。
- (6) 発電設備等が連系する変圧器によっては、別途バンク逆潮流対策が必要になる可能性があります。
- (7) 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、空容量の範囲内であっても、増強工事費の一部を負担いただくことがあります。
- (8) 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開しておりません。
- (9) 個々の電源の運転状況や需要者の電力使用状況が推測可能な電源線や専用線等であり、設備容量、運用容量、N-1電制可否、N-1電制可能量を非公開とする設備は、備考欄に「◇」を記載しております

2020年3月13日 更新

変電所 No	変電所名	電圧 (kV)		台数	設備容量 (100%×台数)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量 (MW)	備考
		一次	二次					当該設備	上位系等考慮			
ISS 001	北金沢 77/6kV	77	6.6	3	76	59	熱容量	21	21	不可 #3	—	
ISS 002	高松	77	6.6	2	33	18	熱容量	9	9	不可 #3	—	
ISS 003	宇ノ気	77	6.6	3	57	47	熱容量	16	16	不可 #3	—	
ISS 004	津幡	77	6.6	3	57	47	熱容量	21	21	不可 #3	—	
ISS 005	大浦 77/6kV	77	6.6	2	38	24	熱容量	22	22	不可 #3	—	
ISS 006	大浦 77/22kV	77	22	1	19	19	熱容量	20	20	不可 #3	—	
ISS 007	浅野	77	6.6	3	76	59	熱容量	22	22	不可 #3	—	
ISS 008	北安江 77/6kV	77	6.6	3	57	47	熱容量	21	21	不可 #3	—	
ISS 009	北安江 77/22kV	77	22	2	38	24	熱容量	24	24	不可 #3	—	
ISS 010	金石 77/6kV	77	6.6	2	38	24	熱容量	20	20	不可 #3	—	
ISS 011	金石 77/22kV	77	22	2	38	24	熱容量	20	20	不可 #3	—	
ISS 012	東金沢 77/6kV	77	6.6	2	38	24	熱容量	20	20	不可 #3	—	
ISS 013	東金沢 77/22kV	77	22	2	48	24	熱容量	24	24	不可 #3	—	
ISS 014	金沢中央	77	6.6	3	67	47	熱容量	20	20	不可 #3	—	
ISS 015	長坂	77	6.6	3	48	35	熱容量	16	16	不可 #3	—	
ISS 016	田上	77	6.6	2	38	24	熱容量	20	20	不可 #3	—	
ISS 017	増泉	77	6.6	2	57	35	熱容量	32	32	不可 #3	—	
ISS 018	大工町	77	6.6	2	38	24	熱容量	20	20	不可 #3	—	
ISS 019	西金沢 77/6kV	77	6.6	3	86	71	熱容量	33	33	不可 #3	—	
ISS 020	西金沢 77/22kV	77	22	1	14	14	熱容量	14	14	不可 #3	—	
ISS 021	額	77	6.6	3	57	47	熱容量	21	21	不可 #3	—	
ISS 022	安原	77	6.6	3	67	47	熱容量	22	22	不可 #3	—	
ISS 023	松任	77	6.6	3	57	47	熱容量	20	20	不可 #3	—	
ISS 024	美川	77	6.6	3	57	47	熱容量	20	20	不可 #3	—	
ISS 025	鞍月 77/6kV	77	6.6	2	57	35	熱容量	31	31	不可 #3	—	
ISS 026	鞍月 77/22kV	77	22	1	19	19	熱容量	19	19	不可 #3	—	
ISS 027	泉野	77	6.6	2	57	35	熱容量	30	30	不可 #3	—	
ISS 028	昭和町	77	6.6	2	57	35	熱容量	31	31	不可 #3	—	
ISS 029	竹松	77	6.6	2	57	35	熱容量	29	29	不可 #3	—	
ISS 030	下林	77	6.6	1	19	19	熱容量	20	20	不可 #3	—	
ISS 031	久常	77	6.6	3	57	47	熱容量	21	21	不可 #3	—	
ISS 032	根上	77	6.6	3	57	47	熱容量	19	19	不可 #3	—	
ISS 033	小松	77	6.6	3	71	53	熱容量	16	16	不可 #3	—	
ISS 034	安宅 77/6kV	77	6.6	2	38	24	熱容量	20	20	不可 #3	—	
ISS 035	安宅 77/22kV	77	22	2	33	18	熱容量	13	13	不可 #3	—	
ISS 036	粟津	77	6.6	3	76	59	熱容量	20	20	不可 #3	—	
ISS 037	大聖寺 77/6kV	77	6.6	3	57	47	熱容量	18	18	不可 #3	—	
ISS 038	大聖寺 77/22kV	77	22	2	57	35	熱容量	28	28	不可 #3	—	
ISS 039	片山津	77	6.6	2	38	24	熱容量	18	18	不可 #3	—	
ISS 040	山中 77/33kV	77	33	1	14	14	熱容量	3	3	不可 #3	—	
ISS 041	山中 77/6kV	77	6.6	2	38	24	熱容量	19	19	不可 #3	—	
ISS 042	山代	77	6.6	3	52	41	熱容量	14	14	不可 #3	—	
ISS 043	沢	77	6.6	2	15	7	熱容量	5	5	不可 #3	—	
ISS 044	箱宮	77	6.6	2	38	24	熱容量	17	17	不可 #3	—	
ISS 045	枯淵	77	6.6	1	4	4	熱容量	4	3	不可 #3	—	
ISS 046	九谷 直配	77	6.6	1	1	1	熱容量	0	0	不可 #3	—	
ISS 047	荒木田	77	6.6	2	38	24	熱容量	18	18	不可 #3	—	
ISS 048	川北	77	6.6	3	57	47	熱容量	20	0	不可 #3	—	
ISS 049	鶴来	77	6.6	2	38	24	熱容量	20	0	不可 #3	—	
ISS 050	福岡第一 直配	77	6.6	1	7	7	熱容量	6	0	不可 #3	—	
ISS 051	吉野第一 直配	77	6.6	1	6	6	熱容量	6	0	不可 #3	—	
ISS 052	吉野谷 直配	77	6.6	1	10	10	熱容量	8	0	不可 #3	—	
ISS 053	尾口 直配	77	6.6	1	6	6	熱容量	5	0	不可 #3	—	
ISS 055	三ツ又第一 直配	77	6.6	1	1	1	熱容量	1	0	不可 #3	—	
ISS 056	桑島 直配	77	6.6	1	0	0	熱容量	0	0	不可 #3	—	
ISS 057	白峰 直配	77	6.6	1	8	8	熱容量	8	0	不可 #3	—	
ISS 058	市ノ瀬 直配	77	6.6	1	1	1	熱容量	0	0	不可 #3	—	
ISS 059	羽咋	66	6.6	3	57	47	熱容量	10	0	不可 #3	—	
ISS 060	押水 77/66kV	77	66	1	95	95	熱容量	60	0	不可 #3	—	

変電所 No	変電所名	電圧 (kV)		台数	設備容量 (100%×台数)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量 (MW)	備考
		一次	二次					当該設備	上位系等考慮			
ISS 061	押水 66/6kV	66	6.6	2	38	24	熱容量	0	0	不可 #3	—	
ISS 062	能登部	66	6.6	3	52	41	熱容量	14	0	不可 #3	—	
ISS 063	高浜	66	6.6	2	38	24	熱容量	13	0	不可 #3	—	
ISS 064	若葉台	66	6.6	2	38	24	熱容量	9	0	不可 #3	—	
ISS 065	富来	66	6.6	2	29	12	熱容量	8	0	不可 #3	—	
ISS 066	徳田	66	6.6	2	38	24	熱容量	16	0	不可 #3	—	
ISS 067	七尾	66	6.6	3	57	47	熱容量	18	0	不可 #3	—	
ISS 068	和倉	66	6.6	2	38	24	熱容量	11	0	不可 #3	—	
ISS 069	中島 66/6kV	66	6.6	2	29	12	熱容量	5	0	不可 #3	—	
ISS 070	中島 66/22kV	66	22	1	10	10	熱容量	9	0	不可 #3	—	
ISS 071	穴水	66	6.6	2	19	12	熱容量	8	0	不可 #3	—	
ISS 072	瑞穂	66	6.6	2	15	7	熱容量	3	0	不可 #3	—	
ISS 073	宇出津 66/6kV	66	6.6	2	29	12	熱容量	6	0	不可 #3	—	
ISS 074	宇出津 66/22kV	66	22	1	14	14	熱容量	15	0	不可 #3	—	
ISS 075	内浦	66	6.6	2	19	12	熱容量	8	0	不可 #3	—	
ISS 076	飯田	66	6.6	2	38	24	熱容量	14	0	不可 #3	—	
ISS 077	門前	66	6.6	2	19	12	熱容量	6	0	不可 #3	—	
ISS 078	輪島	66	6.6	2	38	24	熱容量	21	0	不可 #3	—	
ISS 079	湖南	22	6.6	1	5	5	熱容量	5	5	不可 #3	—	
ISS 080	内灘	22	6.6	1	5	5	熱容量	5	5	不可 #3	—	
ISS 081	鶴ヶ丘	22	6.6	1	5	5	熱容量	5	5	不可 #3	—	
ISS 082	大浜	22	6.6	1	5	5	熱容量	5	5	不可 #3	—	
ISS 083	千鳥台	22	6.6	1	5	5	熱容量	5	5	不可 #3	—	
ISS 084	第2千鳥台	22	6.6	1	5	5	熱容量	5	5	不可 #3	—	
ISS 085	蚊爪	22	6.6	1	5	5	熱容量	5	5	不可 #3	—	
ISS 086	湊	22	6.6	1	5	5	熱容量	5	5	不可 #3	—	
ISS 087	北陽台	22	6.6	1	5	5	熱容量	5	5	不可 #3	—	
ISS 088	河原市	22	6.6	1	5	5	熱容量	5	5	不可 #3	—	
ISS 089	白帆台	22	6.6	1	5	5	熱容量	5	5	不可 #3	—	
ISS 090	鉄工中配電塔	22	6.6	1	5	5	熱容量	5	5	不可 #3	—	
ISS 091	鉄工北配電塔	22	6.6	1	5	5	熱容量	5	5	不可 #3	—	
ISS 092	鉄工西配電塔	22	6.6	1	5	5	熱容量	4	4	不可 #3	—	
ISS 093	鉄工東配電塔	22	6.6	1	5	5	熱容量	5	5	不可 #3	—	
ISS 094	鉄工南配電塔	22	6.6	1	5	5	熱容量	3	3	不可 #3	—	
ISS 095	能登島配電塔	22	6.6	1	5	5	熱容量	4	0	不可 #3	—	
ISS 096	粟蔵配電塔	22	6.6	1	5	5	熱容量	5	0	不可 #3	—	
ISS 097	町野配電塔	22	6.6	1	5	5	熱容量	5	0	不可 #3	—	
ISS 098	柳田配電塔	22	6.6	1	5	5	熱容量	5	0	不可 #3	—	